

株主の皆様へ

UACJ

Leading Aluminum. Leading the Way.

2015年3月期
決算報告

2014年4月1日～2015年3月31日



株式会社UACJ

証券コード：5741

新たに策定した中期経営計画のもと、
将来ビジョンの達成に向けて
持続的な成長への基盤強化に取り組みます。

代表取締役会長 CEO
山内 重徳(左)

代表取締役社長 CEO
岡田 満(右)



当期を振り返って

当期の国内経済は、海外市場の回復による輸出の増加や、原油価格の下落によるコスト低減などを受けて、消費税率引き上げ後の消費低迷から回復傾向を示しました。アルミニウム圧延業界においては、飲料缶やコンデンサー用箔地、液晶・半導体製造装置用厚板などが前期を超える出荷となり、輸出も為替好転の影響を受けて増加したことで、全体では4年ぶりに200万トンを超える出荷となりました。

このような市場環境のもと、当期のUACJグループの業績は、売上高は5,725億円(前期比57.3%増、合算ベース[※]では7.0%増)、営業利益は237億円(同33.2%増、合算ベース[※]では5.2%減)、経常利益は213億円(同27.0%増、合算ベース[※]では0.9%減)となりました。北米のローガン工場における設備故障の影響があったものの、経営統合による事業規模の拡大の影響が下半期からであった前期を、大幅に上回る結果となりました。

当期純利益については86億円(同13.0%減、合算ベース[※]では26.5%減)となり、経営統合にともなうTri-Arrows Aluminum Holding Inc.および

[※] 2013年度上半期は旧古河スカイと旧住友軽金属工業との合算。Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.は持分法適用会社から連結子会社に単純組替。

Tri-Arrows Aluminum Inc.の段階取得に係る差益61億円を計上した前期を下回りました。

中期経営計画について

当社グループは2014年3月に「UACJグループ将来ビジョン」を発表し、その方針のもと、世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループの実現に向けた施策を着実に実施してきました。そして2014年12月には、2015年度から2017年度までの3カ年におけるUACJグループ中期経営計画「Global Step I」を発表しました。この計画は、将来ビジョンの実現に向けた基盤強化のステップと位置

中期経営計画の位置付け

基盤強化

「Global Step I」(中期経営計画)
2015～2017年度



成長加速

「Global Step II」(次期中期経営計画)
2018～2020年度



飛躍

「Global Step III」(将来ビジョン)
2021年度～

付けています。当社グループは今後、下段に掲載した3つの重点方針のもと、グローバルな最適生産体制の構築や技術の融合に取り組むとともに、大型戦略投資の早期戦力化を図っていきます。

まず国内では、製造拠点において生産品種の集約化による構造改革を進めており、2016年度には完了する計画です。

一方、海外では生産・販売体制の強化を進めています。

タイでは、UACJ (Thailand) Co., Ltd. (以下、UATH) ラヨン製造所において鋳造から熱間圧延までの第2期工事が進行中で、2015年8月には一貫生産体制が確立する予定です。同製造所は、高品質

と低コストを両立したアジアトップレベルの一貫生産工場として、UACJグループのグローバル競争力を大きく高めると確信しています。

北米では、欧州のConstellium N.V.との共同事業による自動車用パネル材の供給を計画しており、2016年度の操業開始に向けて順調に工場建設を進めています。

自動車産業の集積が進むメキシコでは、新たに自動車部品製造販売子会社を設立。卓越した技術をベースに、高精度・高品質な自動車用金属部品を供給する体制を強化しました。

欧州では、自動車用熱交換器材の堅調な需要を踏まえ、以前からパートナーとしての関係を築いて

中期経営計画「Global Step I」2015～2017年度

重点方針

自動車を中心とした**輸送分野、エネルギー分野**などの成長製品の拡大と**アジア**を中心とした成長地域の事業強化

各事業の**最適生産体制**の構築および**技術融合**の推進

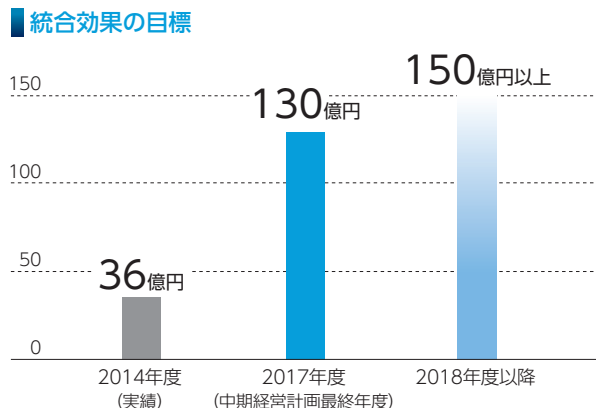
先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による**新技術・新製品**の開発

目標値

	2014年度業績	2017年度目標
連結売上高	5,725億円	7,000億円
連結営業利益	237億円	400億円
連結経常利益	213億円	350億円
自己資本	1,723億円	1,950億円
自己資本比率	25.4%	28%
有利子負債	2,960億円	2,600億円
D/Eレシオ	1.72倍	1.33倍
ROE	5.3%	10%

きたギリシャのアルミニウム製造販売を行うElval Hellenic Aluminium Industry S.A.との間で、販売に関する会社の設立に向けた検討を開始しました。新会社の設立は2015年夏頃を予定しており、今後は同社を通じて、欧州市場にUACJブランドの高品質で競争力ある製品を提供していきます。

このほかにも、中期経営計画に掲げる方針のもと、各事業それぞれの環境や強みを踏まえた施策を推進するとともに、グローバル営業体制の強化や、新技術・新製品の開発、世界で活躍できる人材育成、戦略的な設備投資などを推進していきます。これらによって、中期経営計画で掲げた目標の確実な達成を目指します。



今後の見通しと株主還元について

来期の見通しとしては、UATHラヨン製造所の立ち上げにかかるコスト負担が引き続きあるものの、統合効果の進展や、米国やカナダからのシェールガスの輸入開始を背景としたLNG船用厚板の販売増が見込まれます。

これらを踏まえ、来期は、売上高6,400億円、営業利益265億円、経常利益230億円、親会社株主に帰属する当期純利益110億円を見込んでいます。

また、配当につきましては、1株につき、中間3円、期末3円の年間合計6円を予定しています。

今後も、UACJグループの成長にどうぞご期待ください。



生産拠点を拡充が進むアジアエリア

2012年から建設を進めてきたUACJ (Thailand) Co., Ltd. (以下、UATH) ラヨン製造所は2015年、鋳造工程から熱間圧延工程までの第2期工事が完了し、一貫生産が本格稼働します。この製造所は、日本、米国と並ぶグローバル生産体制の基軸として、アルミニウム需要が増大するアジア市場への供給はもちろん、世界各地のニーズに応じていきます。

飲料缶需要が アジアで堅調に推移するなかで

東南アジア・オセアニアの飲料缶需要予測



出典:当社資料



UACJ (Thailand) Co., Ltd.
ラヨン製造所

収益性の高いエンド材に注力

アジア市場では、経済成長や人口増を背景に、飲料缶の需要が拡大しています。こうしたなか、UACJグループでは、2015年に本格稼働するUATHラヨン製造所で旺盛な需要に応じていく計画です。この製造所は、アジア最高レベルの生産拠点となることを目指したアルミニウム缶材の生産拠点であり、エンド材を供給。この部材は、高度な生産技術を要することから供給者が限定されるため、高い収益性が期待できます。さらに今後は、ボディ材も供給する計画で、飲料メーカーのニーズに幅広く対応していきます。そして、2017年までに生産規模を拡大し、高いシェアを獲得することで、安定した事業の柱としていく考えです。

Focus 収益性を踏まえ、部材ごとの方針を展開



◆ エンド材

内圧に耐え得る強度を実現するため、優れた生産技術力が求められるエンド材。なかでも付加価値の高い塗装エンド材を中心に生産力を強化し、2017年までに市場での高いシェアを獲得します。

◆ ボディ材

競争が激しい市場ではあるものの、エンド材で獲得したシェアを強みに2017年から拡販を強化。エンド・ボディ両材を供給できることを活かし、北米やオセアニアの需要も取り込んでいきます。



自動車需要が世界的に増大するなかで

全世界自動車用熱交換器材需要予測



出典：当社資料

エリアを越えた拡販を展開

世界中で自動車需要が増大するなか、UACJグループが品質・技術面で優位性をもつ自動車用熱交換器材への需要も高まっています。こうした市場の変化を、高品質と低コストの両立を実現するUATHラヨン製造所は、自動車用熱交換器材を拡販するチャンスと捉えています。数多くの自動車部品メーカーを擁するアジアエリアの需要に対応するのはもちろん、グローバル生産体制の基軸として、他のエリアへの供給も計画。これまでの欧州に加えて、新たにタイからもエリアを越えた拡販を展開していきます。

Close Up

市場ニーズへの対応に加え、雇用創出など、タイ国の発展に寄与するUATHラヨン製造所

UATHラヨン製造所では、アジア最高レベルの生産拠点となることを目指し、設備増強への投資とともに、現地従業員の採用・教育を進めています。こうした取り組みは、現地の経済発展や雇用創出、技術人材の育成に大きく貢献するものと、タイ国工業省やタイ投資委員会、タイ工業団地会社などから高く評価されています。



タイ国工業大臣チャカモン・パーサクワニット氏と株式会社UACJ岡田代表取締役社長の会談の様子

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当連結会計年度 (2015年3月31日)
資産の部			
流動資産		236,638	269,889
固定資産		371,852	408,063
有形固定資産		256,988	292,374
無形固定資産		64,976	65,871
投資その他の資産		49,889	49,818
資産合計		608,490	677,952
負債の部			
流動負債		236,387	287,884
固定負債		203,963	202,932
負債合計		440,350	490,816
純資産の部			
株主資本		148,489	151,287
その他の包括利益累計額		7,026	21,018
少数株主持分		12,625	14,831
純資産合計		168,140	187,136
負債純資産合計		608,490	677,952

連結損益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
売上高		364,107	572,541
売上原価		313,647	500,400
売上総利益		50,460	72,142
販売費及び一般管理費		32,688	48,463
営業利益		17,772	23,679
営業外収益		2,368	2,310
営業外費用		3,342	4,652
経常利益		16,798	21,337
特別利益		6,256	489
特別損失		7,531	2,970
税金等調整前当期純利益		15,523	18,856
法人税、住民税及び事業税		3,155	4,880
法人税等調整額		1,602	4,284
少数株主利益		821	1,043
当期純利益		9,946	8,649

連結包括利益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益		10,766	9,691
その他の包括利益		4,994	15,729
包括利益		15,761	25,421

連結キャッシュ・フロー計算書

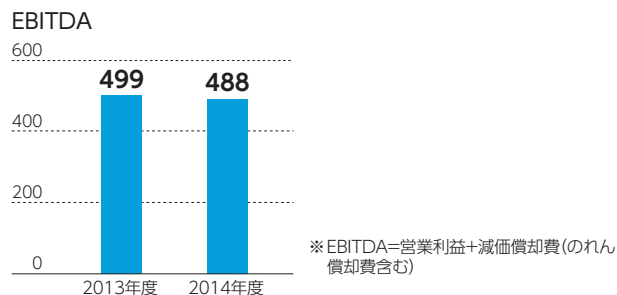
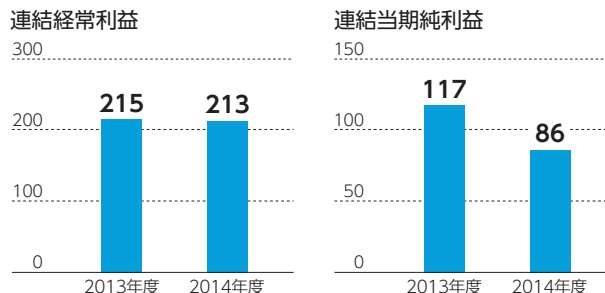
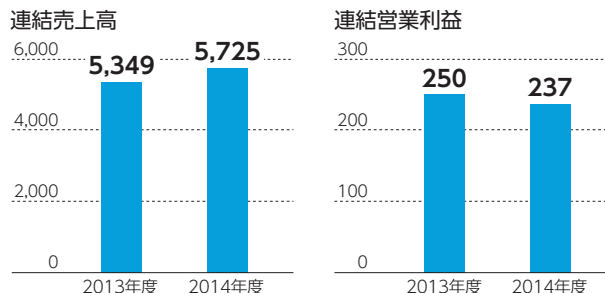
単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2013年4月 1日～ 2014年3月31日)	当連結会計年度 (2014年4月 1日～ 2015年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー		14,233	26,777
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 25,452	△ 49,668
財務活動による キャッシュ・フロー		14,067	25,694
現金及び現金同等物に係る 換算差額		6	401
現金及び現金同等物の 増減額		2,855	3,204
現金及び現金同等物の 期首残高		8,419	17,471
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△ 93	274
現金及び現金同等物の 期末残高		17,471	20,949

連結業績ハイライト(旧両社合算ベース)

単位：億円(四捨五入)

2013年度上半期は、旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算数値です。Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.は持分法適用会社から連結子会社に単純組替しています。



会社データ (2015年3月31日現在)

名 称	株式会社UACJ (英文名:UACJ Corporation)
事業内容	アルミニウム・銅等の非鉄金属及びその合金の 圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の 製造・販売など
資本金	450億円

拠点一覧 (2015年4月1日現在)

本 社	東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
製 造 所	名古屋(愛知県)/福井(福井県) 深谷(埼玉県)/日光(栃木県)
支社・支店	中部支社(愛知県)/関西支社(大阪府) 九州支社(福岡県) 北海道支店(北海道)/静岡支店(静岡県)
研 究 所	技術開発研究所(愛知県)

役員一覧 (2015年6月26日現在)

取 締 役	代表取締役会長 CEO	山内 重徳
	代表取締役社長 CEO	岡田 満
	取締役兼副社長執行役員	伊東 修二郎
	取締役兼専務執行役員	荘司 啓三
		中野 隆喜
	取締役兼常務執行役員	田中 清
		土屋 博範
		渋江 和久
		長谷川 久
		石原 美幸
	取締役(社外、非常勤)	鈴木 俊夫
監 査 役	常勤監査役	杉山 涼子
		石原 宣宏
		加藤 一正
	監査役(社外、非常勤)	浅野 明
		佐藤 哲哉
		曾根 貴史
		松村 篤樹

執行役員	専務執行役員	白石 重和
		楠本 昭彦
	常務執行役員	松浦 達郎
	執行役員	清水 洋二
		福井 裕之
		新堀 勝康
		種岡 瑞穂
		山口 明則
		阿部 禎一
		川島 輝夫
	田口 正高	
	手島 雅裕	
	今泉 明人	
	松下 彰	
	稲垣 公樹	
	吉田 明典	
	細見 和弘	
	大谷 隆英	

株式の状況

発行可能 1,700,000,000株

株式総数

発行済 428,281,934株

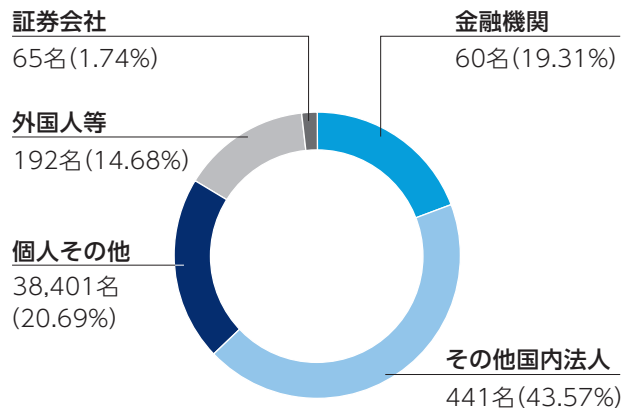
株式総数 ※ 自己株式486,942株を含む

株主数 39,159名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株数比率(%)
古河電気工業株式会社	120,365	28.10
新日鐵住金株式会社	37,446	8.74
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	13,136	3.06
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	11,680	2.72
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC / JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	7,825	1.82
住友商事株式会社	7,500	1.75
株式会社三井住友銀行	7,330	1.71
株式会社みずほ銀行	7,303	1.70
JP MORGAN CHASE BANK 385632	7,296	1.70
UACJグループ従業員持株会	6,144	1.43

所有者別の構成比率(株式数比率)



身近なところで幅広く活躍する アルミニウム箔

加工しやすく、見た目にも美しいアルミニウム箔は、身の回りの至るところに用いられています。食卓のアルミホイルをはじめ、お菓子・医薬品の包装材、家の断熱材や自動車・家電のパーツなど、私たちの生活と切り離せない、とても身近な存在です。

業務用から家庭用まで、おいしさや鮮度、安全・衛生を守る食品の包装材に



食品

食材の保存や調理にも使用されるアルミホイルのほか、キッチン用品、ガスコンロ周辺の保護シートなどに

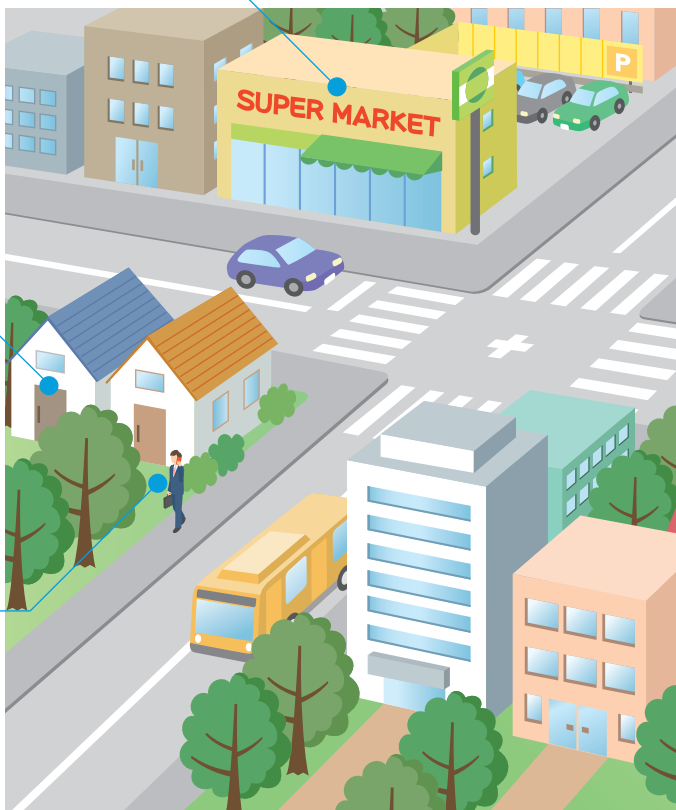


日用品

ノートPCやスマートフォンなどモバイル機器の小型化・大容量化を支えるアルミ電解コンデンサー用に



モバイル機器

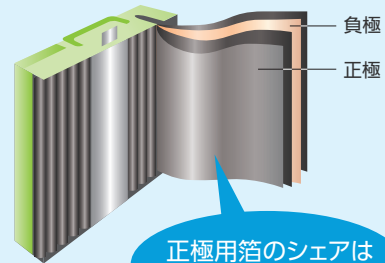




Close Up

リチウムイオン電池の両極材料を トータルに提供できる国内唯一の存在

スマートフォンなどの電子機器や電気自動車など幅広い用途があり、需要が拡大するリチウムイオン電池。その性能を左右する電極材の正極にはアルミニウム箔、負極には銅箔が用いられています。アルミニウム箔・銅箔の技術を併せ持つ当グループ会社の株式会社UACJ製箔は、両極用の箔をつくれる唯一の国内メーカーであり、世界トップクラスのシェアを誇っています。



正極用箔のシェアは
世界トップクラス



医薬品



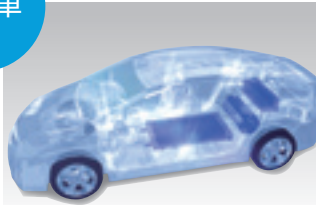
異物の混入や薬品の偽造を防ぐ錠剤用のPTP(Press Through Package)包装に

住居



強度や断熱性を高める壁材の裏面材、エアダクトなど、住まいのさまざまなところに

自動車



次世代自動車のバッテリーに使用されるアルミ電解コンデンサーやリチウムイオン電池に



このコーナーでは、国内外の製造拠点を各製造所の社員が紹介します。
今回は厚板を主体とする基幹工場、深谷製造所を紹介します。

世界有数の設備と技術力を誇る厚板主体の基幹工場

私たちが働く深谷製造所は、今から約半世紀前の1967年に板圧延の専門工場として操業を開始しました。以来、世界有数の設備と優れた技術力を発揮し、幅広い板製品の生産を担ってきました。UACJグループの発足後は、最適生産体制の構築に向けて生産品種の集約を進め、厚板製品の製造と自動車用パネル材の仕上げに特化した生産拠点へと転換。液晶・半導体製造装置用のプレートなど、好調が続く厚板需要を支えています。



自動車用
パネル材に

液晶・半導体
製造装置に

LNG船用厚板の製造再開など、 高まる厚板需要に応える工場へ

国内で当社だけが供給できるLNG船用厚板は、福井製造所にて製造していますが、旺盛な需要に応えるため、深谷製造所においても10年ぶりに製造を再開しました。現在は、月産700トンの実現に向けて設備の増強を進めています。

また、2014年の春から人材育成や品質、安全などの現場力をさらに向上させる活動を展開。この活動を所内の全員が継続的に取り組み、高い評価を得られる品質を追求しています。



LNG船用厚板の製造を深谷製造所で
10年ぶりに再開

深谷製造所って、 どんなところにあるの？



©深谷市

深谷製造所が位置する埼玉県深谷市はネギの生産量が日本一の街で、深谷市のイメージキャラクター「ふっかちゃん」もそのネギがモチーフ。その深谷市は、日本資本主義の父 渋沢栄一の出生地でもあり、彼が深谷に建設したレンガ工場で製造された赤レンガは、東京駅をはじめ、さまざまな建築物に使用されました。このように日本の発展を支えた街で深谷製造所は活躍しています。



株主の皆様とのコミュニケーションの場として、最新のイベント情報やアンケート結果などを報告します。



「株主様向けアンケート」の集計結果について

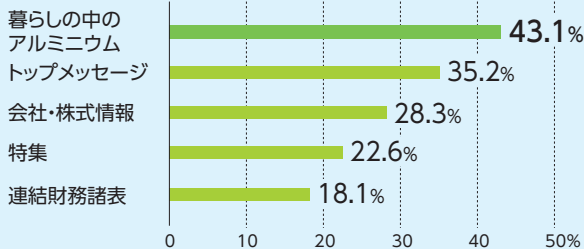
株主の皆様とのコミュニケーション促進に向けて、2015年3月期上半期報告書に同封した「株主様向けアンケート」には、1,031通ものご回答をいただきました。集計の結果、“良かったところ”として昨年新設した「暮らしの中のアルミニウム」が最も多い回答となり、また

当社の魅力として“アルミニウムの将来性”“世界トップクラスの生産能力”が上位の回答となりました。

今後もアルミニウム、そして当社の将来性を理解いただけるよう、「株主の皆様へ」でも紹介していきます。

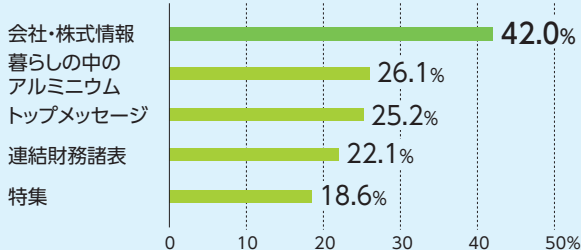
●「株主の皆様へ」で良かったところはどこですか。

(複数回答含む。上位5位)



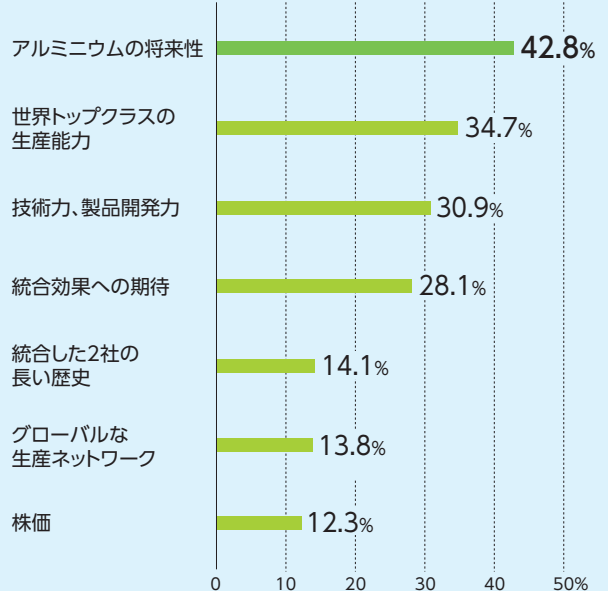
●今後の「株主の皆様へ」でより詳しく知りたい情報はどこですか。

(複数回答含む。上位5位)



●当社のどこに魅力を感じますか。

(複数回答含む。上位5位)



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 http://www.uacj.co.jp/ (やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

株式会社UACJ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号
東京サンケイビル
Tel. 03-6202-2600(代表) Fax. 03-6202-2021
<http://www.uacj.co.jp/>



単元未満株式の買取制度のご案内

当社では、単元株制度を採用しており、1単元は1,000株とさせていただきます。

単元未満株式(1～999株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律および当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取制度をご利用いただけます。

※2015年6月30日までの期間限定で、単元未満株式の買取請求に際して当社にお支払いいただく買取手数料を無料としていますが、2015年12月31日まで延長いたします。

証券口座に株式をご所有の株主様

お取引の証券会社にお問い合わせください。

特別口座に株式をご所有の株主様

下記の通り、お問い合わせください。

●旧住友軽金属工業の株式をお持ちであった株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

●旧古河スカイの株式をお持ちであった株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)